

三条教区通信

第 50 号

発行日 2011年8月1日
 発行者 三条教務所長 鷺尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 URL : <http://www.gobosama.net>

★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

真理の一言は
 悪業を転じて
 善業と成す

【教行信証行巻】

東北地方太平洋沖震災 救援と復興支援

6月30日現在における災害救援金の収納総額は、508,887,019円となっておりますので、ご報告申し上げます。物資は総計57トン、職員派遣は6月2日までに延べ443名、被災者受け入れは17世帯66名となっています。いつも申し上げておりますが、改めて諸事情厳しき折にもかかわらず、厚く御礼申し上げます。

なお、「東北地方太平洋沖地震」以外の、一般の火災、風水害等の個別の門徒被害につきましてはお見舞いをいたしますが、新聞記事もしくは罹災証明を添えてご申請願います。また、寺院被害につきましては、保安を確保くださり、御本尊等奉安の法宝物を保護のうえ、多くの角度から被災現場の写真撮影をお願いしてください。広域大規模災害でない場合は教務所から直ちに出向くようにいたしておりますが、報告前に片付けてしまわれ、記録が残っていない場合も見受けられます。

また、「東北地方太平洋沖地震」におきまして、所属のご門徒で被害に遭われた方が見つかりましたら、教務所までご報告くださいますようお願い申し上げます。

※宗派の被災者救援につきましては本山ホームページ (<http://www.higashihonganji.or.jp/>) に掲載されておりますので、是非ご覧ください。また「三条教区仏青有志会」による救援ボランティアからの報告や連絡事項につきましては巻末コーナーに記載しております。

研修会等ご案内

■「差別と真宗」交流学習会 I 開催案内同封

- ◆ 日 時 2011年9月12日(月)
- ◆ 会 場 教区同朋会館
- ◆ 講 師 上宮 修清 氏
(高田教区第2組善正寺 住職)
- ◆ テーマ「原発事故と放射能」
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:史陀・藤波)まで。
〔主催:教化委員会「差別と真宗」共学研修会部門〕

■声明基本講習会 開催案内同封

- ◆ 日 時 2011年9月13日(火)9:30～16:00
- ◆ 会 場 教区同朋会館
- ◆ 講 師 部門スタッフ
- ◆ 内 要 得度班と研鑽班にわかれての講習
得度班…初心者講習
研鑽班…報恩講について
- ◆ 参加費 500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。
〔主催:教化委員会声明講習会部門〕

■帰敬式受式者の集い 開催案内同封

- ◆ 日 時 2011年9月24日(土)
- ◆ 会 場 三条別院
- ◆ 講 師 渡邊 学 氏
(三条教区第23組明正寺 住職)
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:史陀・森)まで。
〔主催:三条教区御遠忌委員会同朋会運動推進部会〕

■教区推進員研修会

開催案内後日

- ◆ 日時 2011年10月3日(月)
- ◆ 会場 三条別院
- ◆ 講師 田口 弘 氏
- ◆ 講題 未定
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:森・藤波)まで。
〔主催:教化委員会推進員研修会部門〕

■「差別と真宗」交流学习会Ⅱ

開催案内後日

- ◆ 日時 2011年10月13日～14日
- ◆ 会場 仙台教区眞行寺
- ◆ 講師 佐々木道範氏
(仙台教区中組眞行寺衆徒 仙台教区仏青会長)
- ◆ テーマ「原発事故と放射能」
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:史陀・藤波)まで。
〔主催:教化委員会「差別と真宗」共学研修会部門〕

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

2011年

御正當報恩講

11月21日～11月28日

本山からお知らせ

屏風『親鸞』レプリカ(左右セット¥75,000-)が通販サイトでも購入できるようになりました。なお、受注生産のため8月中旬以降のお届けとなりますのでご承知おきください。

【通販サイト(榊フラワー)】

<http://www.flow-er.co.jp><http://www.flow-er.co.jp/shinran/shop/>

また、阿弥陀堂前(御修復事務所)にて開設しておりました「御遠忌お買い物広場」が、7月20日(水)から総合案内所(御影堂門と阿弥陀堂門の間)へと場所を移して開設されることになりました。

教化委員会からのお知らせ

教区指定推進員養成講座

第19組「0からの真宗講座」がスタート

去る6月11日(土)、第19組浄林寺を会場に「0からの真宗講座」(教区指定推進員養成講座)が、講師に渡邊 学氏(第23組明正寺住職)をお迎えし開催されました。この日が第1回目となり、40名を超える方々が熱心に受講されました。

今回の養成講座は19組にとっては2度目となり(前回は1996-97年の実施)、それだけに昨年度から準備の会議が十分に重ねられ、満を持して開催となった

ことです。

今後、地元での前期教習が重ねられ12月には本山での後期教習が行われる運びとなります。



教務所からのお知らせ

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 (事情により変わる事があります)

☆6/26～8/6 福嶋龍徳 氏(熊本教区)

☆8/7～9/17 高橋法信 氏(大阪教区)

☆9/18～10/29 日野賢之 氏(小松教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んできている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。是非、ご聴取ください。

◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・藤波まで)

◎教務所事務休止について

下記のとおり教務所事務を休止とさせていただきます。期間中まことに御迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお願ひします。

- ①期間2011年8月10日～2011年8月16日
- ②緊急連絡先
 - ・三条別院 0256-33-0007
 - ・加田岡主計 0749-85-4527(圓長寺)

◎教区他 主な行事予定一覧(7月22日現在)

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうえで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日 時	行事内容
2011年	
8月	
8/2	20組夏の集い
8/3 14:00	ご依頼適正委員会
8/4 14:00	教区御遠忌委 教化伝道部会
8/5 14:00	教区教化委員会
8/9 14:00	教区御遠忌委員会
8/10	～16日 教務所事務休暇
8/18 14:00	教区会参事会
8/19 14:00	教区門徒会常任委員会
8/20	真宗学院
8/21	真宗学院特別講義
8/22 14:00	三条別院責任役員会

8/23 14:00	教区会決算委員会
8/24 14:00	教区会予算委員会 16組教化委員会
8/25 13:30	教区会
8/26 13:00	坊守役員小委員会
8/27	真宗学院
8/29 14:00	児連・仏青会議
8/30 10:00	教区門徒会
8/31 14:00	坊守役員会
9月以降の予定	
9/2 14:00	三条別院院議会議
9/3	真宗学院 21組公開講座
9/5 13:30	正副組長会
9/6 14:00	「差別と真宗」協議会総会 大谷大学同窓会
9/7 15:00	声明会議
9/9	16組声明講習会
9/10	19組推進員養成講座
9/12	「差別と真宗」交流学習会
9/13	声明基本講習会 ～19日真宗学院前期教師修練
9/24	帰敬式受式者の集い 真宗学院
9/30	査察委員任期満了
10/1	真宗学院 ～2日 宗徧流茶会
10/3	教区推進員研修会
10/8	真宗学院 19組推進員養成講座
10/13	～14日「差別と真宗」交流学習会
10/15	真宗学院
10/22	真宗学院
10/29	真宗学院
11/5	～8日三条別院報恩講 真宗学院生参拝
11/12	真宗学院
11/19	真宗学院 19組推進員養成講座
11/21	～28日日本山御正當報恩講
11/26	真宗学院
12/2	～4日 19組養成講座後期上山
12/3	真宗学院
12/5	～6日 法灯の集い
12/10	真宗学院
12/17	真宗学院学年末試験
12/31 11:45	大晦日 三条別院除夜の鐘
2012年 同朋会運動50周年	
1/1 00:00	三条別院修正会
2/25	～26日 真宗学院一泊研修会
3/31	教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了

駐在教導のつづき

～藤波之篇～

毎年のことではあるが、夏になると家の台所はまるで野菜市場のようになる。集まってきたナスやキュウリやトマトはどれも商品になりそうな出来栄の上、新鮮であることが一番の売りだ▼よく言われることであるが、夏野菜には体温を下げる効果があると言われている。確かに、暑い夏には体がそれらの食物を欲するせいかな本当においしい。なおかつ毎日食べても飽きることがない。これは実に理にかなったことであると言えよう▼これからの季節には桃や葡萄などの果物が加わって「にわか市場」はさらに賑やかになる。それらの品々は全てご近所からの頂き物であり、農村部に建つお寺の台所ではどこも似たような状況になるのではなかろうか▼少子高齢化という時代、一世帯における家族の数が減り、食物の消費量も少なくなったことは今更いうまでもない。さらに食文化の多様化も手伝って、「最近の若者はナスやキュウリの漬物なんか食べなくなった。」と吐露される農家も少なくない。かといって土と共に生きてきたご老人は畑を放っておくわけにもいかない。ただただ「ご先祖からの土地だから・・・」と、農作業に勤しむ▼目の前に並ぶ新鮮な野菜を見ているうちに、ヘリコプターから撮影された大津波に襲われていく田畑の映像が頭に浮かんできた。いかに機械化されたとはいえ、人の手で耕され守られてきた畑こそが野菜を育む大地であった。今まで何気なく頂いていた野菜の贅沢さを改めて感じる。

所員のささやき

～加田岡之篇～

▼新潟での夏は今年で3回目を迎える。例年だと、どんよりとした曇り空がしばらく続いていたように記憶していたが、今年は意外と梅雨があつという間に明けて、空を見上げれば立派な入道雲が姿を現した。今年は何かが違う。▼先日、仙台仏青の佐々木さんが、研修会の講師においでになった際に、放射線測定器を持ってきていただくよう依頼していた。研修会の翌日、昼前に仙台へ戻られるということで、午前中測定器をお借りして、境内の放射線を測ってみた。カリカリと独特の音を発する測定器。においも形もない放射線を計測するには、この測定器をただ信じるしかない。▼マイクロシーベルトという単位で新聞や報道で放射線量が発表されているが、実際に計測している場所が、人が生活するのとは違う高さのようで、あまり頼りにならない数値らしいので、この目で確かめたいとかねがね思っていた。それが叶った。▼気になる測定結果だが、コケが生えていたり、雨水が集まるようなところは、報

道のとおり数値が高くなった。通常 0.06 マイクロシーベルトが平均値ということだが、本堂前の駐車場、幼稚園グラウンドは、0.1 だった。高いところは 0.24 以上を示した。最低でも、通常の 2 倍あることに驚いた。多いところで 4 倍ということになる。ちなみに、仕事をしているデスク上は平均値の 0.06 だった。▼測定器をお借りした佐々木さんの二本松の幼稚園はどれくらいの数値が出るのか聞いてみると、桁が変わって 4.0 とか 6.0 とかだそうである。通常の何十倍で、明らかに危険そうである。「ほんとに、大丈夫ですか？」とお聞きしたら、正直どれくらいが危険でどれくらいなら大丈夫なのかわからないということだ。▼わたしも計測してみても安心できるかと思っただ、測ってはみたが安心かどうかかわからないので、結局自分勝手に、たぶん大丈夫だろうと、適当なところで妥協してしまっていることに気づかされる。▼食品に入って問題になっている放射性物質セシウムは筋肉や体全体に蓄積する。中にはストロンチウム 90 という放射性物質があり、骨にたまりやすく半減期が 18 年と長いものもある。とにかく、放射線の影響が近かろうが遠かろうが、私たちはこのことについて無知なことがよくわかった。色もかたちにもおいもないから、目をつぶっていようがいまいが同じことだ。わからないのである。このままでは同じような事故が止まらない。▼台風がもたらした新潟の青天には、原発から今なお発せられる放射性物質が、台風 6 号に吸い寄せられた大気に乗って新潟上空まで漂ってきている。普段は偏西風の影響でほとんど新潟には流れてこないが、今もお原発からは放射性物質が相変わらず発生し続けているのだろう、雨が降れば、地上に降り落ちる。中国から黄砂が降ってくるように、原発の放射性物質は、九州まで飛散している。目に見えないものから逃れることのできない不安が除かれるのは、今の政府の対応では、まだまだ先のようにしか見えない。▼なでしこジャパンの勝利には、早朝から茶の間でうれし涙をこぼした。しかし、今もお、被災地の報道を見るたび涙を浮かべてしまう。

新潟親鸞学会からのお知らせ

『新潟親鸞学会紀要』第8集発行しました。

当事務局へお求めいただくと送料が加算されるため、一般書店の店頭でお求めいただくか、あるいは ISBN 番号で書店で取り寄せ注文していただくと、送料が不要となります。

2011年6月16日発行 A5 128頁 定価 1,100円(税込) 発売元 (株)新潟日報事業社 ISBN978-4-86132-461-1 一般書店でお求めに出来ます。

「親鸞となむの大地—越後と佐渡の精神的風土—」展 2014 (平成 26 年) 4 月 26 日(土)～6 月 8 日(日)開催予定 新潟親鸞学会では、宗祖親鸞聖人750回ご遠忌記念行事として、新潟県立歴史博物館を会場として企画展を開催の予定です。現在、新潟日報社と付帯イベントの協議中です。いずれ企画展および関連事業の詳細をご報告します。

【入会申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局／超願寺内(〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク：

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

有志会ボランティアのコーナー

いつもご協力を頂きありがとうございます。また十一日の会議に御出席頂きました皆様、お疲れさまでした。

子どもたちを放射能からまもろう！支援カンパについて(お願い)

震災から三ヶ月が過ぎ、未だに被災地では困難な生活が強いられています。特に、福島第一原発の事故は、いまだその收拾さえも見えず、その被害はますます拡大しつつあります。

とりわけ、多くの子どもたちが放射能汚染に日々脅かされています。そういう中で原発周辺地域である福島県「浜通り」と「中通り」に住む子どもたちを放射能からまもろうとの動きがあります。それは現在、放射能の下で生活している子どもたちに、せめて夏休みの期間中だけでも、汚染地域外(北海道等)で一定期間生活してもらおうという計画です。そのことによって、子どもたちの現在受けている内部被曝を軽減、あるいは除去できるということです。そのために、緊急に支援を必要としています。

仙台教区中組のお寺さんから上記のお願いがありました。具体的には三期に分け、一期間は1週間から10日ほどで、三期間で合計150人を予定し、支援金は旅費として使用されるということです。

仙台教区教化委員会として、教区内の福島県の子どもたちを放射能からまもりたいとの要請に応えるべく、皆様に緊急の支援を呼びかけいたします。

何卒ご支援よろしく願いいたします。

2011年6月23日 仙台教区教化委員会

支援方法 ゆうちょ銀行

口座番号 02270-8-118127

口座名「子どもたちを放射能からまもろう！」

へお振込くださいますようお願い申し上げます。

期 限 第一期は、7月23日に70名程が出発

されますので、誠に勝手ではございますが、第一次締め切りを7月19日(火)とさせていただきます。

夏休み以降も継続する長期的な計画でありますので、引き続きご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。

11日の会議の際にもカンパを募りました。

※すでにご存じのかたもたくさんおられると思いますが、東日本震災関連の大谷派の支援団体のホームページを紹介します。

①仙台仏青

<http://namaste.digick.jp/>と

<http://namaste.digick.jp/>

②東京教区茨城1組の有志の方々

<http://ibaraki1kumi.blog.fc2.com/>

ときどき覗いてみてください。

※メール配信をご希望の方は・・・

「shinsho@nct9.ne.jp」

(三条仏青有志会連絡係 藤井信彰(14組長楽寺)までご連絡ください。

